

地域課題解決型ビジネス支援事業 買い物動向等に関するアンケート調査報告書

1. 調査目的

本アンケート調査は、全国的に少子高齢化に伴う人口減少や地域コミュニティの基盤である商店会の衰退により地方の活気が失われている中で、東和町米川地区の買い物難民対策及び商店会会員の魅力度向上並びに事業継続等に対する課題の抽出や取るべき対策に関する方向性を取りまとめ、米川商店会及び個店としての今後のビジョンを策定することを目的として、米川地区住民の買い物動向の現状把握、商店会等へのご意見・ご要望等を伺うために実施しました。

2. 調査概要

(1) 調査の対象

- ・登米市東和町米川地区住民

(2) 調査の方法

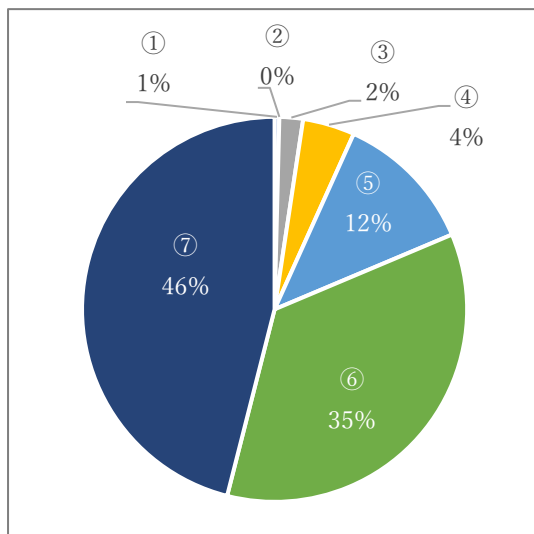
- ・配布方法：①アンケート調査票を自宅へ郵送
②商店会会員店頭で直接配布
- ・回収方法：郵送及びインターネット回答、商店会会員店頭回収BOXを設置
- ・配布数：1,022件（郵送857件、店頭配布165件）
- ・回収期間：令和5年12月13日（水）～令和6年1月5日（金）

(3) 回答数

- ・回答件数：253件（郵送187件、インターネット18件、回収BOX48件）
- ・回答率：24.8%

3. 調査結果

問1. 年代をお聞きします。

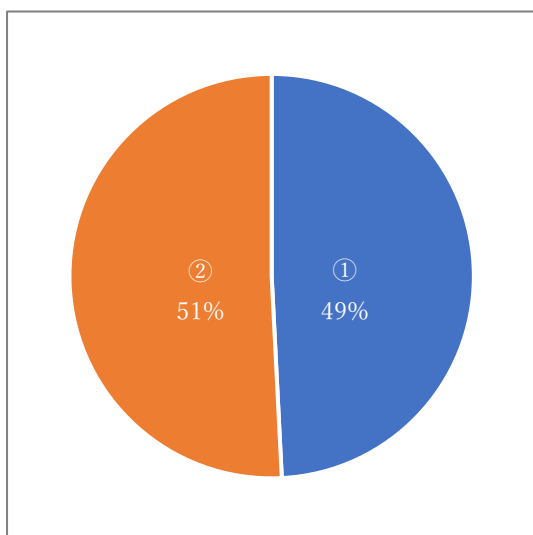


選択肢	回答数
①10代以下	1
②20代	0
③30代	5
④40代	11
⑤50代	30
⑥60代	89
⑦70代以上	116
未回答	1
計	253

回答者の年代の分布を見てみると、「⑦70代以上」が46%と最も多く、次いで「⑥60代」が35%を占め、合わせると81%が60代以上という結果になり、購買者の高年齢化が進行していることが伺える。

なお、「令和5年度版登米市統計書」により確認したところ、東和町全体で見た場合の60代以上の人口割合は52%となっている。

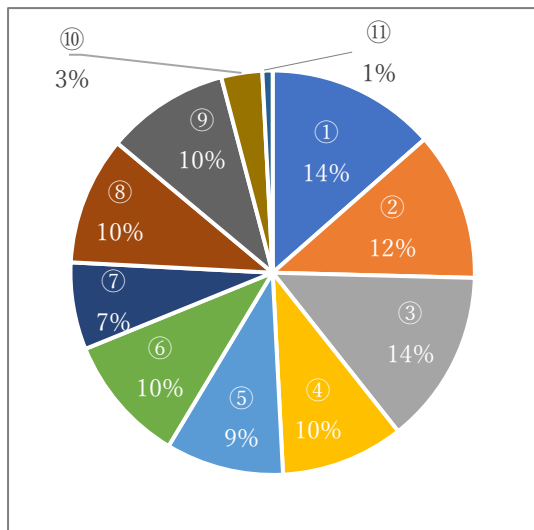
問2. 性別をお聞きします



選択肢	回答数
①男性	123
②女性	127
未回答	3
計	253

回答者の性別割合は、男女共に約50%で、ほぼ同じ割合となった。また、令和6年2月末時点の米川地区人口も男女共に約50%となっており、調査結果とほぼ同じ割合となっている。

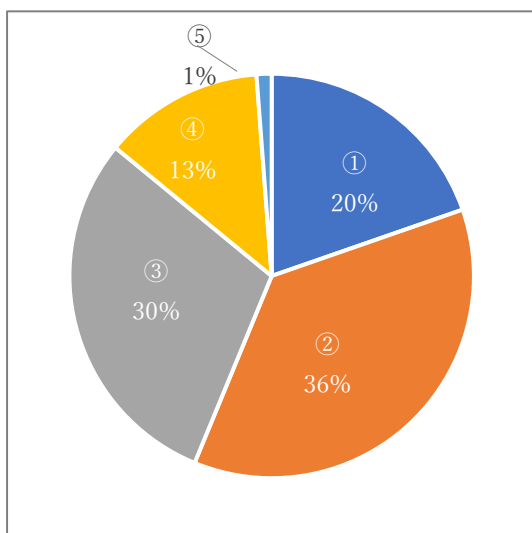
問3. お住まいの地域をお聞きします



選択肢	回答数
①米川1区	33
②米川2区	29
③米川3区	34
④米川4区	24
⑤米川5区	23
⑥米川6区	25
⑦米川7区	17
⑧米川8区	25
⑨米川9区	24
⑩米川10区	8
⑪その他	2
未回答	9
計	253

全ての行政区の方より回答いただき、各地区の割合はほぼ10%に分かれた。なお、10区のみ割合が低いですが、10区は住民数が少なく米川地区の世帯割合で見ても4%であるため特段低い数値ではない。なお、行政区による回答者の年代や男女比率の差はほぼ見られなかった。

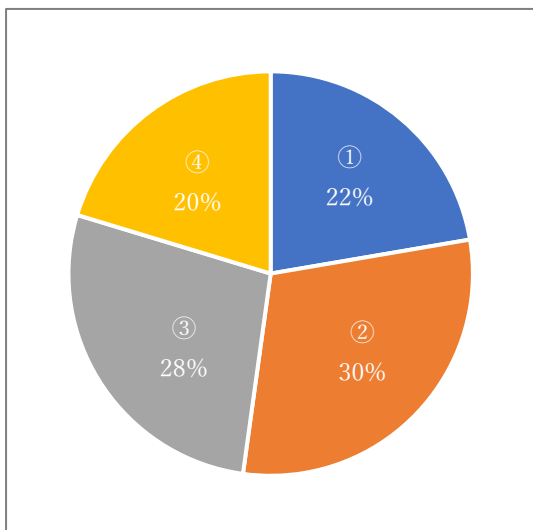
問4. 家族構成についてお聞きします



選択肢	回答数
①1人世帯	49
②1世代世帯	91
③2世代世帯	74
④3世代世帯	32
⑤その他	3
未回答	4
計	253

回答者の家族構成は「②1世代世帯」が36%で最も多く、次いで「③2世代世帯」が30%、「①1人世帯」が20%を占める結果となった。回答者の内60代以上の世帯について確認したところ、「②1世代世帯」が40%、次いで「③2世代世帯」が27%、「①1人世帯」が22%を占めており、1世代世帯と1人世帯の割合が増えている結果となった。なお、国で調査を行った「国民生活基礎調査」により確認したところ、65歳以上の家族がいる世帯の状況は、「夫婦のみの世帯※1世代世帯」が32%、次いで「単独世帯※1人世帯」が31%となっており、この2つの割合は増加傾向で推移しており、米川地区においても今後「①1人世帯」・「②1世代世帯」の割合が増加すると思われる。

問5. 食料品・日用品の買い物に不便を感じていますか

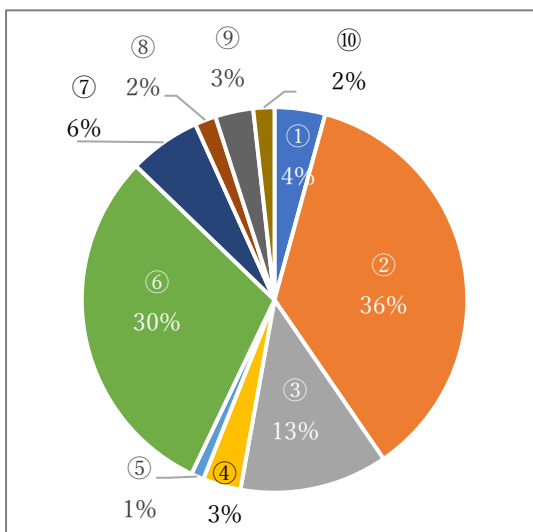


選択肢	回答数
①大いに感じている	56
②感じている	75
③多少感じている	69
④ほとんど感じていない	51
未回答	2
計	253

買い物に不便を感じている方の割合は、「②感じている」が30%、次いで「③多少感じている」が28%となっている。その他の回答もほぼ同じ割合を占めているが、少しでも買い物に不便を感じている方が多いことが伺える。なお、回答者の年代による割合の変化は見られなかった。

また、令和5年に農林水産省が実施した「買物と食事に関する意識・意向調査」により確認したところ、不便を感じている方の割合は約30%となっており、米川地区は買い物に不便している住民の割合が平均よりも高いことが伺える。

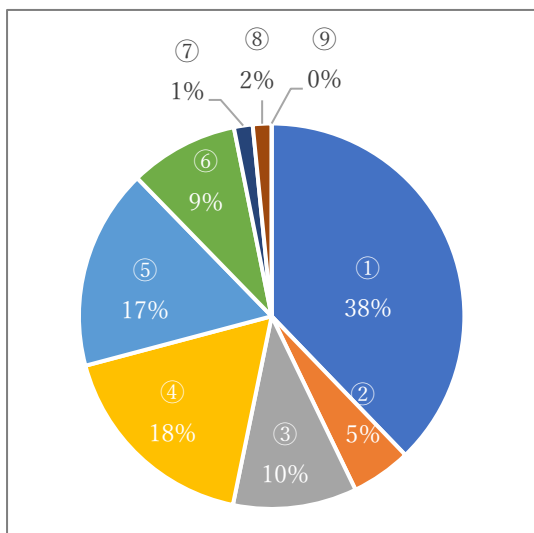
問6. 問5で「①大いに感じている」、「②感じている」と回答した方にお聞きします。不便を感じている理由としてどのようなものが挙げられますか（上位3つまで選択）



選択肢	回答数
①自分で買い物に行けないため	12
②利用したい店が近くにないため	102
③交通の便が悪いため	35
④体力に自信がなく買い物が負担であるため	9
⑤買い物に協力してくれる家族や知人、友人がいないため	3
⑥欲しい商品がないため	85
⑦営業時間が短いため	17
⑧土曜日・日曜日に営業していないため	5
⑨駐車場がない、もしくは車が停めにくい	9
⑩その他	5
未回答	-
計	282

不便を感じる理由としては、「②利用したい店が近くにないため」が36%、次いで「⑥欲しい商品がないため」が30%を占めており、その他選択肢と大きく差が出ている。また、回答者の内77%の方が「②利用したい店が近くにないため」を選択しており、米川地区の消費者のニーズにマッチした店舗が無いことが伺える。さらに、令和5年に農林水産省が実施した「買物と食事に関する意識・意向調査」により確認したところ、「買い物に行く時間的余裕がない」が最も多く占め、次いで「店が近くにない」、「食料品の値段が高い」とな

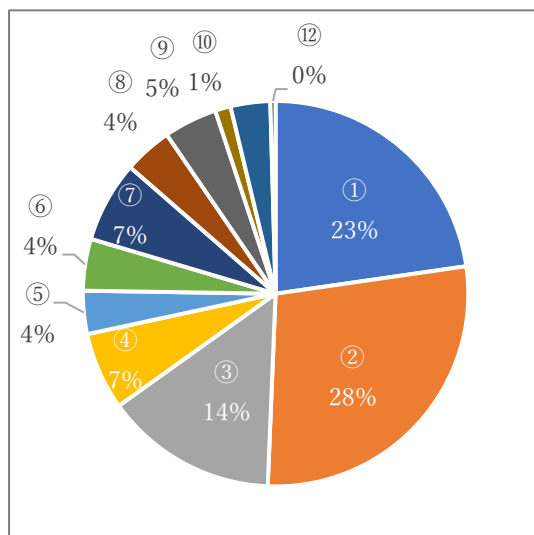
問7. 食料品を主に購入する場所をお聞きします（上位3つまで選択）



選択肢	回答数
①スーパー	240
②八百屋、肉屋、魚屋等の商店	32
③農産物直売所、道の駅	66
④ドラッグストア	112
⑤コンビニエンスストア	107
⑥生協等による宅配	58
⑦ネットスーパー、ショッピングサイトによる宅配	10
⑧移動式スーパー	10
⑨その他	0
未回答	-
計	635

購入場所の割合は、「①スーパー」が38%、次いで「④ドラッグストア」が18%、「⑤コンビニエンスストア」が17%となっている。なお、回答者の内67%が「①スーパー」を選択していた。高い割合を占めた「①スーパー」、「④ドラッグストア」、「⑤コンビニエンスストア」の内、東和町内に立地しているのは「⑤コンビニエンスストア」のみであるため、地区外への消費流出が多いことが伺える。

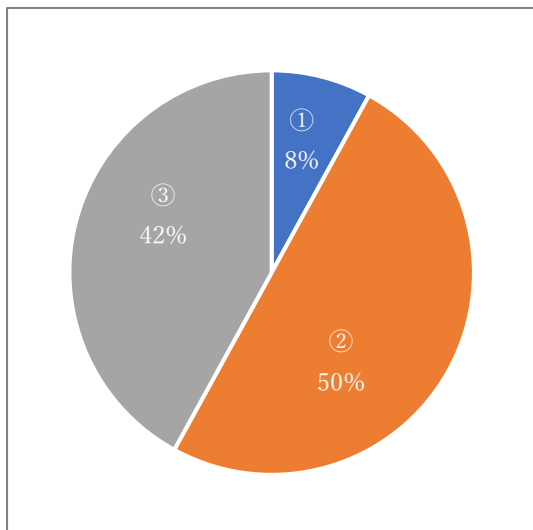
問8. 食料品を購入するお店を選ぶ際の主な理由をお聞きします（上位3つまで選択）



選択肢	回答数
①価格の安さ	157
②品揃えの多さ	193
③商品の品質	100
④購入場所の近さ	45
⑤営業時間の長さ	25
⑥店舗の雰囲気、入りやすさ	30
⑦車の止めやすさ	47
⑧ポイント制度がある	28
⑨割引、セールがある	31
⑩接客姿勢の良さ	9
⑪クレジットカード、キャッシュレス決済が使える	23
⑫その他	3
未回答	-
計	691

お店を選ぶ際の理由としては、「②品揃えの多さ」が28%、次いで「①価格の安さ」が23%を占めていた。なお、回答者の内、「②品揃えの多さ」を選択した方は76%、「①価格の安さ」を選択した方は62%を占めている。近年の傾向として、時間効率を求める方が増えている他、物価高騰の影響を受け節約志向が高まっていることが伺える。

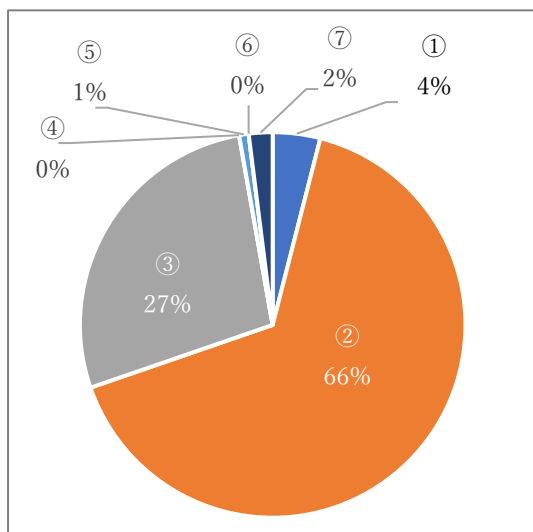
問9. 食料品を購入する頻度をお聞きします



選択肢	回答数
① ほぼ毎日	20
② 週2～4回	125
③ 週に1回程度	105
未回答	3
計	253

食料品の購入頻度は、「②週2～4回」が50%、次いで「③週に1回」が42%を占め、「①ほぼ毎日」の割合は8%と他と比べ少ない結果となった。購入頻度のボリュームゾーンは週2～3回といった調査結果もあり、本調査においても同様に最も多い割合を占めたが、週に1回程度の割合も同様に高くなっており。購入頻度の減少は、1世帯当たりの家族数が縮小したことが要因の一つと考えられる。

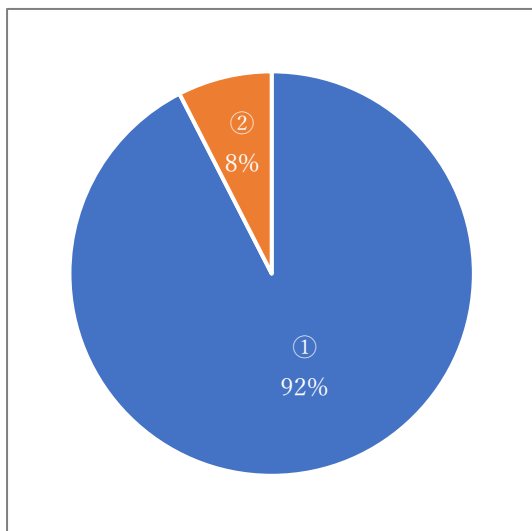
問10. 食料品を購入する地域で最も多い地域をお聞きします。移動販売や宅配利用は含まないものとして回答ください



選択肢	回答数
① 登米市東和町	10
② 登米市中田町	165
③ 登米市迫町	69
④ 登米市登米町	0
⑤ 南三陸町	2
⑥ 石巻市	0
⑦ その他	5
未回答	2
計	253

最も多く食料品を購入する地域は、「②登米市中田町」が66%、次いで「③登米市迫町」が27%、合わせて93%を占める結果となり、地区外への購買流出が明らかになった。職場が中田町や迫町に立地する為通勤時に購入するといった意見の他、価格・品揃え・時間効率を重視する住民のニーズに合致するスーパーやドラッグストアが立地する地域に消費流出していることが要因と思われる。

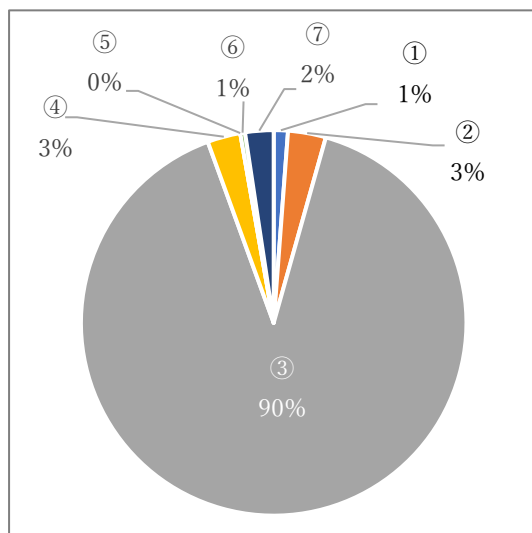
問1 1. 回答者ご自身または同居のご家族で自動車の運転をする方はいますか



選択肢	回答数
①いる	233
②いない	19
未回答	1
計	253

自動車の運転をする方については、「①いる」が92%を占めており、現状では多くの世帯で車を利用できる状況であることが把握できた。なお、「②いない」と回答した内、60代以上回答者は95%、1人世帯の回答者は60%以上を占めており、買い物に不便を感じている割合が高くなっている。今後高齢化が進行することにより運転をしない方が増加することが予想され、公共交通機関の充実、購買機会の提供が求められる。

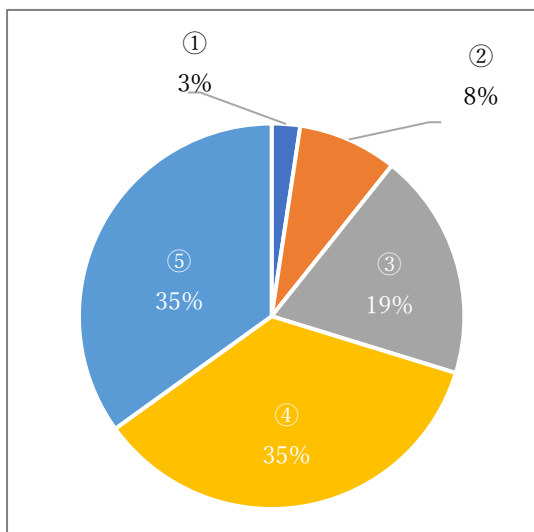
問1 2. 買い物する際の主な移動手段をお聞きします



選択肢	回答数
①徒歩	3
②自転車	8
③自家用車	227
④住民バス	7
⑤バイク	0
⑥タクシー	1
⑦その他	6
未回答	1
計	253

主な移動手段は、「③自家用車」が90%を占めており、大多数の方が自家用車を使用していることから、現状では買物困難者の人数は少ないものと思われる。地域外のスーパー等への消費流出が顕著であることから買物の際の移動手段として自家用車が不可欠であることが伺える。

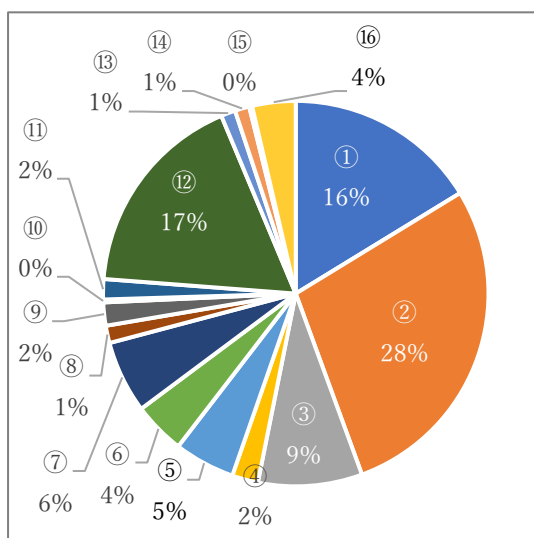
問13. 米川地区での買い物や飲食店利用等、地元商店の利用頻度をお聞きします



選択肢	回答数
① ほぼ毎日	6
② 週2~4回	21
③ 週に1回程度	48
④ 月に1、2回程度	89
⑤ ほとんど利用しない	88
未回答	1
計	253

地元商店の利用頻度は、「④月に1、2回程度」及び「⑤ほとんど利用しない」が35%で最も多く、次いで「週に1回程度」が19%を占めていた。回答者の内過半数は地元商店を月に1回以上利用していることが把握できた。なお、問11で自動車を運転する人が「②いない」と回答した方に関しても、利用頻度はほとんど変わらない結果であった。

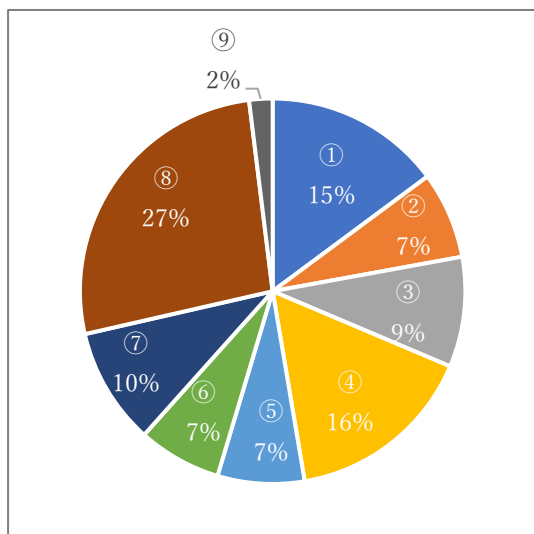
問14. 問13で「④月に1、2回程度」もしくは「⑤ほとんど利用しない」と回答した方にお聞きします。ほとんど利用しない理由としてどのようなものが挙げられますか（上位3つまで選択）



選択肢	回答数
① 価格が高い	67
② 品揃えが少ない	116
③ 商品の品質が低い	36
④ 自宅からの距離が遠い	9
⑤ 営業時間が短い	21
⑥ 入店しづらい雰囲気がある	18
⑦ 駐車場がない、又は車が停めにくい	25
⑧ ポイント制度がない	6
⑨ 割引、セールがない	8
⑩ 接客姿勢が悪い	1
⑪ クレジットカード、キャッシュレス決済に未対応	7
⑫ 1店舗で買い物が済ませられない	72
⑬ 土曜日・日曜日に営業していない	5
⑭ チラシ等の宣伝広告がない	5
⑮ 清潔感がない	1
⑯ その他	15
未回答	-
計	412

利用しない理由としては、「②品揃えが少ない」が28%、次いで「⑫1店舗で買い物が済ませられない」が17%、「①価格が高い」が16%を占めた。品揃えへのニーズとともに、ワンストップショッピングが主流となり、利便性向上や時間の有効活用に対するニーズの高まりが伺える。

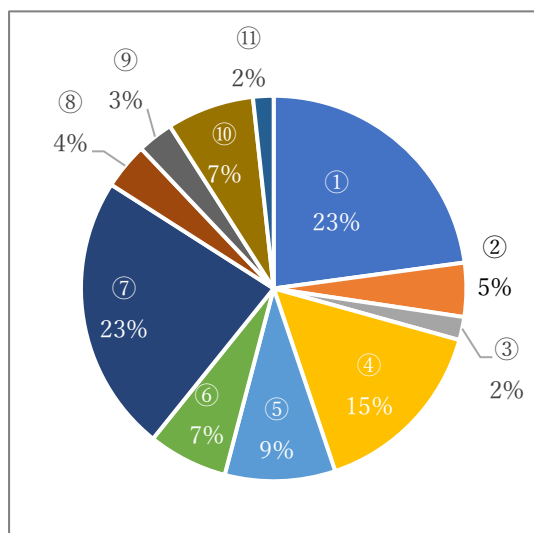
問15. 米川地区の商店や飲食店で行ってほしい個店サービスをお聞きます（上位3つまで選択）



選択肢	回答数
①御用聞き、宅配サービス	53
②買い物代行サービス	26
③テイクアウト	33
④出前	57
⑤キャッシュレス決済対応	26
⑥ポイントカード	25
⑦チラシ等の宣伝広告	35
⑧特に無い	95
⑨その他	7
未回答	-
計	357

行ってほしい個店サービスについては、「⑧特に無い」が27%、次いで「④出前」が16%を占めた。極端に偏った結果にはならなかったが、最も多い「⑧特に無い」については、回答者の内37%が挙げており、地元商店に対する期待感が薄れていると思われる。また、後継者不足等といった個店が抱える課題も認知されていることも、個店や商店街の今後に対しての期待感が薄れる要因になっているものと思われる。

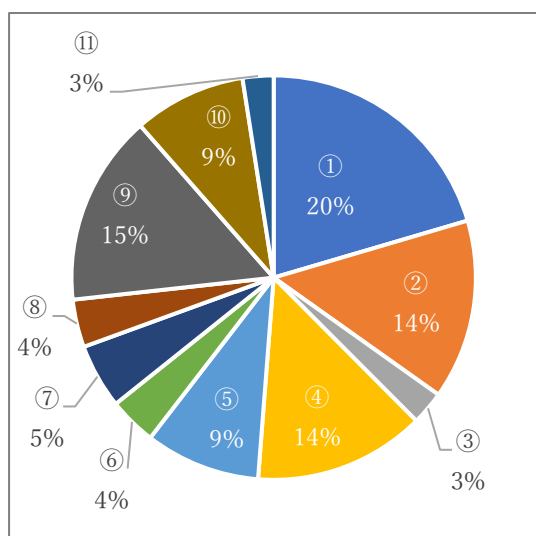
問16. 米川地域の商店・商店会、みやぎ北上商工会に期待する役割についてお聞きます（上位3つまで選択）



選択肢	回答数
①地域住民への身近な購買機会の提供	106
②治安や防犯への寄与	21
③創業機会の提供	9
④地域の賑わいの創出	72
⑤自治会活動など地域活動の担い手	43
⑥地域情報発信の担い手	31
⑦一人暮らし高齢者への宅配サービス	108
⑧町並みや歴史的資産の保存	18
⑨地域の歴史、文化の担い手	14
⑩特に期待することはない	34
⑪その他	8
未回答	-
計	464

期待する役割については、「①地域住民への身近な購買機会の提供」及び「⑦一人暮らし高齢者への宅配サービス」が23%を占めている。また、回答者の内、約40%が両選択肢を選択しており、今後高齢化社会が進行する中で商店会等に対し一定の期待を寄せていることが伺える。

問17. 今後、米川商店会としてイベントや催事などを開催し地域及び商店会の活性化を目指す際の取り組み内容についてお聞きします。実施を希望する（又は行ってみたいと思う）項目を選択してください（上位3つまで選択）



選択肢	回答数
①定期的な朝一、マルシェイベント	91
②空き店舗対策	64
③体験型イベント	12
④共同売出し事業	61
⑤地域情報の発信	41
⑥駐車場・駐輪場の整備	17
⑦多目的広場・公園の整備	23
⑧ベンチ、トイレの設置	17
⑨地域の行事と連動したイベント	68
⑩特に希望する取組はない	40
⑪その他	11
未回答	-
計	445

実施を希望する取組については、「①定期的な朝一、マルシェイベント」が20%、次いで「⑨地域の行事と連動したイベント」が15%を占めた。ともに活気に満ちた地元を望む方が一定数いることが伺え、伝統行事である「米川の水かぶり」や「綱木之里大名行列」との連携を希望する声も挙げられた。

問18. 米川地域には多くの名所旧跡、歴史的建造物が点在しています。今後、観光客の増加を目指す取り組みや地域オリジナル商品、土産品を開発するとした場合、その素材として活用を望むものをご記入してください（自由記載）

【加工品】

- ・米を使ったパンなど。
- ・山の資源活用、農被害を減らすジビエ、きれいな水を活用できる何か。日常的に消費できる物か、質の高い長く使える日用品。購入者がコラボできるもの、体験や写真スポット
- ・昔、水かぶりまんじゅうや森のこうれんを売っていた。職場のおやつに買った。名物は残したいし応援もしたいものです
- ・水かぶり人形を販売
- ・フキ、八重のスマレなど花の砂糖漬けもあり。地元農産物。素材として入手のしやすさを考えると庭・畑で収穫できない、余り気味の作物（カキ、カボチャ、イモ類など）。身近で意外なものの方が素材として手に入れやすく衆目されやすい栽培しやすいと思うので、畑等の雑草の中で食用向き薬効があるもの
- ・例にある地域文化関連グッズ（キーホルダー、エコバック、地元産材のこけし等の置物）
- ・①おいしいものの開発 ②誰も来ないので催事はいらない
- ・「水かぶり」名入れ清酒（300ml程度の小瓶）、「水かぶり」「大名行列」等の写真ハガキセット

- ・米川の水かぶりの年男のマスコット、キーホルダー。マイタケの調理の仕方を公民館にあるマップの中に載せる。田植え踊りや飯土井神楽の CD、DVD 米川の水かぶりの時に甘酒、肉まん、あんまん、ピザまんを売る
- ・わら人形マスコット、三経塚クッキー、開明坂れいめいドリンク、源氏ホテル懐中電灯キーホルダー、まいたけチップ（菓子）等を作り、商店会や公共施設に見本を置く。イベントごとに出張売店を出す。菓子類は賞味期限を長くさせる工夫をする。商店会で「どぶろく」を作り（許可必要？）都度売り出す（冬季間）
- ・例文に挙げてあるものを菓子などとして開発（お土産品）になればいいなと思います。（貸店舗がないのが残念ですが）以前「ほたるの宴」としてお酒もありましたか？今はありません。新しいラベルでの販売があればいいなと思います（酒好きより）（前はカビのようなラベルでした）
- ・キーホルダーとかいいと思います。各家庭からデザインを募集したり小中高の生徒たちからの提案とかもいいと思います。もう少し米川地区をアピールしてほしいです。静かすぎます
- ・大名行列の酒、お菓子等の土産品
- ・あるがまま日常の米川の暮らしを理解、訪問来てくれる観光客が来てくれる様な町で良いと思う。食べ物、森の茶屋で売っている水かぶりクッキーはお土産にいいと思う
- ・まんじゅうの箱を開けると水かぶり人形（キーホルダーorしおり等）が出てくるとうれしい
- ・米川の水かぶりタオル・キーホルダー&ホテル蛍光ボールペン・キーホルダー（素材を東和産の杉を使用）。せんべい（水かぶり、ホテル、大名行列）地元産米等

【農林産物】

- ・舞茸
- ・しめじ、しいたけ、タケノコ、レンコン
- ・きのこの森での舞茸の収穫販売等のイベントがあったが現在も栽培しているのを利用してもう一度再開してほしい
- ・森林があるので木や山菜、山の物を使ったもの。津山と一緒に言われないもの
- ・各種イベント、米、椎茸、ジビエ、野菜など地域で産出されるものすべて
- ・雑木木材を使用したものとか
- ・対外的に誇れるものは特産林産物だと思いますので、キノコ類がいいと思います
- ・木工品、米粉
- ・米川の生・乾燥舞茸はみんなに喜ばれる
- ・シカやイノシシを利用した料理や土産物
- ・以前会社だった建物（例えばカシオの下請け会社とか綱木の木酢液を作る施設などを改修してジビエを捌く施設にする。それを空き店舗等で料理としてふるまったり販売したりする。（ジビエの数が足りないが…）
- ・米川の水かぶり、舞茸、しめじ、松茸、ブナシメジ等を加えたキノコの町としての売り込み、ホテル

【風景・自然】

- ・米川の自然の素晴らしさをもっと発信してほしいと思います。若草山の桜とか紅葉も良いと思います
- ・米川の水かぶり 源氏ホテル 隠れキリシタンの里
- ・ホテルの復活を望みます
- ・ゲンジボタル、星空、きれいな遊べる川、桜

【施設・伝統文化】

- ・米川の水かぶりに大勢の人が来るのに屋台等の出店が少ない。飲食やフリマ等増やして！！集客の割に店が少なすぎ工夫足りない
- ・米川の水かぶりに合わせて観光を旅行会社に打診して、若草神社等米川観光
- ・馬頭観音のまつり、若草神社の祭りなども行ってみたいくなるイベントもチラシに乗せて呼びかけてみてください
- ・三経塚、開明坂、華足寺は1年を通して観光客を呼べると思う（オリジナルの土産品の開発）
- ・若草神社とタイアップはどうか？
- ・バイク神社に関連するものは？どの程度持続性があるかわからないが
- ・開明坂は小学校児童、先生方もよく知らないと感じます。開明坂、若草神社にバイクで来ている多くの方々にグッズまたはお札と休憩できる喫茶店等又は自販機等あっても良いのでは？
- ・米川の水かぶりについて。現在人の動きが多いのもう少し内容を考えてみることも？
- ・今米川で活気のあるのは若草神社さんです。商店会として何か協力できることはないでしょうか。水かぶりの時に売るもの：酒、味噌、甘酒、ピザ、肉まん、あんまん
- ・三経塚、若草山、馬頭観音、大慈寺
- ・米川の水かぶり、三経塚、大名行列を素材としたものを特に若者そして女性の視点で考えてもらいたい
- ・華足寺山間の文化財保護。米山炭の復活。養蚕業の復活（耕作放棄地の利活用）、地域情報発信力の強化（パワーアップ）
- ・三経塚。お金を落とす仕組みづくり
- ・瑞樹窯

【その他】

- ・米川地域振興会が続けてきた HP、youtubue、SNS による情報発信の結果、水かぶり、ゲンジボタル、大名行列、などが現状、WEB での圧倒的なアクセス数を獲得しています。これらについては、ほかの地域にはないキラコンテツとなりつつあることが数字からもうかがえます。テレビ等メディアで取り上げられるなどもあり、町外の人との会話からも知名度の変化を感じられます。こういった地域にある素材を活かしながらも、端的に商品を開発するのではなく、開発商品に付加価値をつける意味でも、地域文化や観光価値などご紐づけながら、情報発信をしていく必要があると思います。販売方法としては、イベントや地域での店頭販売の推進ももちろんですが、訪問客を誘致できる期待数にも一定の限界があるかもしれません。そこで、並列して取れる方法としては、通信販売があります。個々に始める商店もありますが、資金とノウハウ、労力がかかります。商店会、あるいは一定のグループで、モールとして通販ショップを開設し、全国に向けて開発商品を販売するということもできます。商工会、商店会、振興会などが連携し、地域の観光やイベント等と連動させて、情報発信してはどうであろうかと
- ・とりあえずフォトサークルの素材をもとにフォトブックを作成し、簡単な歴史や各商店の CM（写真地図顔写真入り）に地域各産品（写真価格入り）を紹介してみても
- ・専門のこだわりがあるお店が欲しい。例えば焼き立てのパン屋さんなど。明るくて入りやすいお店。若い人たちが中心となり活気あるお店
- ・まず活気がない、愛想がない、もう少し笑顔で挨拶してほしい。自分のところの儲けだけ考えて客のことな一にも考えていない
- ・これまでのことを考え合わせても、これから先観光客の増加を見込むことはできないと思います。人口を増やすしかないと思うがそれも無理でしょう

- ・米川地域は以前ラーメンやうどんなどを食べる食事処が数件ありました。今思うと味も良く、今評判のおいしいと言われる店と比べても遜色はなかったと思います。今は本当においしいのであれば少し遠くからでも訪れます（リピーターになる人もいます）。そこでお客同士の交流が生まれれば地域の活性化になるのではと考えます。商店の共同経営（出資含む）店であれば、そこで地域の情報を発信することで、商店の利益にも繋がれば良いと思います
- ・高齢者が多い地域です。そして若い人が少なく高齢の親を見る状態です。独身者が多く親と二人暮らし。結婚しても中田佐沼に移住
- ・東和全体で何か大きなものを造ってほしい
- ・地域オリジナル商品、土産品開発しても通年で売れますか？魅力ある個店にすることが先決。個店の体力をつけてイベントするのは賛成です
- ・今は人口減少の時代ましてや限界集落ともいわれそうな山間地域の米川に佐沼のような大型スーパーと競っても到底勝てるものではない買い物客も少ない（地域の住民よりも鹿や熊猪の方が多い）状況は、もう絶望的とも思われる状況。救いはないのか？私は決してそうとは思わない。客が少なければ他地域から呼べばいい……果たしてその方法は！！米川しかない物仙台からも来て買いたい物そのようなものを開発すればよい。ちなみに私はお昼にトマトラーメンが食べ買い時鹿島台まで食に行く。たとえば鹿や熊や猪の活用熊が獲れなければなんとかする。その様にして㊟開発して地域全体で名物にする等考えれば何かある
- ・観光客以前に地元に店がない、人がいない。まずは地元がにぎやかになってからの観光客を考えるべき
- ・スピリチュアルなものに興味を持たれる現在、開明坂を PR してはいかがでしょう。開明坂の由来を説明するパンフレット（あまりお金をかけないで作成する）を作成し若草神社に配置させてもらい、若草神社の参拝の際に併せて見物してもらおう方法はどうでしょうか。若草神社にはバイク族の方などの来訪者も多くなってきており、そこから情報は発せられれば、なお拡散すると思われれます。また、お正月番組で県内市町村の観光 PR の番組が東日本放送で放映されていますので、登米市の観光部門と交渉して、来年の放送に開明坂 PR をお願いしてはいかがでしょう。入賞すると東日本放送で年間数回放送されるそうです
- ・米川地区は蔵の多いところなので古川の緒絶の館のようなものを活用した利用方法を模索してはいかがなものでしょうか
- ・観光マップ作成やガイド養成は過去にあったと思うがハードルはかなり高いように思う
- ・youtube 等で情報発信
- ・何でもイベントを行うにしても商工会の力だけでは難しく地域住民が巻き込まれます。日中土日仕事の勤務状態が変わっており中々協力していただける人ばかりとは言えず協力する人達もどんどん高齢化してきています。頑張っている若い人もいますが中央に流れつつあります。米谷で行っているような何かイベントが行えたなら…と言っても集まるか心配

問19. 米川商店会・みやぎ北上商工会に対するご意見・ご要望があればご記入ください

(自由記載)

【商店に関するご意見】

- ・春は空き店舗を利用した吊るし飾り、夏は風鈴まつり等米川全店で同じ催しをして集客する
- ・何をやってもいい、ただもう少し活気が欲しい。どこに行っても活気がない。笑顔が欲しい。自分が良ければそれでいい客は値段の安いところに行く。もう少し考えてほしい
- ・米川商店会は空き店舗が多くまたバラバラ状態です。集約した店舗数になればいいなと思います。町の中の店は駐車スペースもないのが利用しづらいです
- ・高齢化と人口減少でどんな行事や催事をやっても大変だと思いますが地元で商店が無くなっては困りますので何とか頑張って続けてほしいと思います
- ・私ももうすぐ70代、今は自分で好きなものを買に行ける幸せ！これから先を考えると…と言ってもシャッター通り、これからどんな未来があるのでしょうか？若い人たちはもっと中心部に向かいますよね。少ない商品を扱うのはやっぱり高くなりますよね
- ・米川商店会については店の減少、後継者不足の様で、地域の高齢化もあり期待できるものは少ないまたはないように思われる
- ・米川地域は人が少なくなってきています。いろいろな行事・共同的店があっても、これから作っても人がいなければ何にもなりません。まだ自動車を運転できるので買い物はできますがもし運転できなくなってしまったらこの店で買ったらいいのか大変になると思います。総合的に何でも買えて自由に食べれる場所があると便利になると思います。これはほかの地区でも同じことが言えると思います
- ・実際問題として品揃え価格はスーパーにはかなわないと思う。1つの物、例えば野菜森の茶屋は数量が少ない。これは米川に行けば品揃えが良くて買いたくなるもの「まいたけ」とか根気強く育ててほしい
- ・米川商店会も数少なくなって心細いので若者の店が出せるように考えましょう（経営者と製造する者を若者に頼りたい）
- ・子供食堂、フードバンク等への食材（農家の自家野菜等）有償支援。都市部との交流事業を通しての交流人口の拡大あるいは移住、定住者の拡大事業は何か検討できないもののでしょうか？
- ・今あるお店をなくさないようにしてもらいたい
- ・近くの店は品揃えがなく、商店によって同じものが20円もの差のあるものもあるなど統一性、サービス精神不足、やはり揃っている迫町の店などに向かう。商店会として一緒にこんなものをという企画も
- ・後継者がいないのが第一問題だと思う。店主に話を聞くと俺で終わりだと聞く
- ・商店がないことが寂れる原因かも？県外からも入居して人が動けることを
- ・地域の貴重な商店としてできるだけ長く営業してほしい
- ・高齢者に優しい商店会であって下さい。シャッターアートなど、閉店なったお店を活かして明るい街並みに！
- ・後継者いないから商店会無くなりますよね
- ・割引券の発行など使ったら（利用したら）得だと思えるような取り組みが増えればいいと思います
- ・中田町のケーキ屋さんのようにテレビ等で発信してはどうか
- ・米川の買い物は道の駅で野菜類は酒類は中田のスーパーで米谷の買い物は道の駅で日用品は宅配を頼んでいます。商工会はなくとも良いのでは

- ・寺の買い物できるだけ檀家商店会より買い物するよう働きかける。これ本当に重要です。
- ・買い物がしたくなるような魅力ある個店にしてください。そうすれば他の地域に行かず地元で買い物します。他地域に負けるな！
- ・価格については仕入れる量によっての違いはあると思いますので手を少し加えて惣菜店、場合によっては共同購入的、日程又は曜日を決めて予約（一週間分）をとる。注文書は写真付きで栄養的にも気を使っていたくとなお良いと感じます。これから老人世帯が多くなると思いますので…
- ・飲食できるところがないと人は集まらないと思う。三滝堂のように自然で遊べて飲食店があればいいのですがね…
- ・古い町並みを活かし昭和・大正などの古き良き時代にタイムスリップした観光事業があれば良いと思う。歩いて古さ（レトロ感）を感じられたら良い。キノコ料理専門店やお土産屋など
- ・飲食店がもう少しあればいいと思います
- ・スーパーやドラッグストアなどが欲しい
- ・共同出資のスーパー
- ・総合スーパーの開設を検討してほしい
- ・いつでも、みんなが自由に集まれて、コーヒー等が飲める場所情報交換等ができる場所（誰かが常駐して運営）その中で、将棋手芸おしゃべり軽い運動党ができる場所

【行事に関するご意見】

- ・私たち老人にとってはありがたい話ですが現実としてはかなり厳しいことだと思います。年金暮らしの人たちが毎月の支払いがある中で買い物に回すお金はそんなにないと思います。月に何回か地元で朝市方式で買い物をするのも楽しいと思いますが？地域の活性化のためよろしくお願いします
- ・定期的に人が集まるイベント（販売会）等を実施して様子を見る
- ・地元商店会は活気がなく沈んでいるような感じがします
- ・山と川を昔の様に戻してください！
- ・イベント（手作り文化祭など）の時車を手配してもらえれば参加者などまた交通的にも良いのでは
- ・人口が減り何かイベント等を行うにしてもその時にしか人が来ない通常人が来ないことが心配です。昭和の時代のような賑わいはどこへ行ったのでしょうか。今は買い物に限らず中央へ中央へと人が流れどんどん過疎化していています。車社会、ネット社会の影響も大きいと思っています
- ・行事に合わせたイベントでの販売等の活性化を図ってみては。米川水かぶり、綱木の大名行列、秋の収穫祭、春の旬祭 マスコットキャラクターを作るのも面白いかも！！

【自然・施設に関するご意見】

- ・もうすぐ廃校になる米川小学校の校舎と校庭。設備も広さもそろっているので公園としてもイベント会場としても（レンタル事務所にも）内外共に使いやすいと思います。活用した方が良くと思います。「馬路村のポン酢」とか「北限のお茶」のような勝負でき商品を開発すべきだしそれに普通の方々が庭や小さい畑で参加できればみんな商活動による結びつきができ地区の豊かさになるのではないかと思います。限定生産とかにして他で売るなど商工会の力を発揮できる販売をした方がみんな面白く発展できると思います
- ・農業・林業と連携した商品づくり
- ・自然環境とマッチしたイベント。例えばアウトドアブームに乗った野外で行う体験型のイベント
- ・キャンプ施設や体験ができる場所があると活気が出てくると思う

【その他】

- ・地域おこし協力隊があっても良いのでは！！
- ・別にありません。米川が良くなれば住みやすく！！
- ・補助金などの情報提供
- ・商工会の活動目的がわからない人が多いように思う。アンケートも良いが自分たちでどうしたいか考えることも必要ではないか
- ・がんばって前の米川にしてください！！
- ・米川振興会で策定している地域づくり計画に参画して地域と一体となって将来を考えていくべき
- ・特にみやぎ北上商工会におかれましては若い方や女性の方の力を大いに活用されますことを要望いたします
- ・もっともっと根本的な（働く場確保をどうするか）ことを議論するべきでしょう。難しいから万人に優しく説明するべき。働く場所のないところに住むことはできない。できるのは老人だけであろう。老人にできるのは限度があろう。私は多くのホームレスを見てきて感じた
- ・みやぎ北上商工会のネーミングどこか地元でないような米谷地区のみ（狭義）～北上川沿いの商工会（広義）のイメージ
- ・リスクはあるかもしれませんが多国民を移住させてみてはいかがでしょうか？新しい米川文化が生まれるかもしれません
- ・高齢者の多い地区。出前、配達が今後益々望まれると思います
- ・過疎化対策を実施
- ・期待無し
- ・米川のお米など贈り物としてギフトアップしてほしい！！（パッケージを考えて！）
- ・地域住民に呼びかけてリードしてほしい

※記述に関しては原文のまま記載しております。一部については文脈から誤植と思われる点や個人社を特定できる文言等を修正して掲載しました。

※回答内容が重複している場合は、統合して記載しております。

～調査にご協力いただいた皆様にこの場を借りて御礼申し上げます～

令和6年5月

買い物動向等に関するアンケート調査報告書

【発行】みやぎ北上商工会

宮城県登米市中田町上沼字西桜場18

TEL：0220-34-3255 FAX：0220-34-3261